

## 様式第3

## 会議録

会議名	第4回野田市鈴木貫太郎記念館再建基本計画策定専門委員会議
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	1 鈴木貫太郎記念館再建基本計画（素案）について（公開） 2 その他（公開）
日時	令和7年10月1日（水） 午後3時から午後3時35分まで
場所	市役所低層棟4階 委員会室
出席者氏名	委員 菅根幸裕委員（議長）、下津谷達男、四柳隆、山本和也、澤田修、岩岡竜夫  職務上の意見等を伺うため出席を依頼した職員 染谷篤（教育長）、宮崎等（市史編さん担当）  事務局 鈴木有（市長）、金子正道（市政推進室長）、鈴木貴史（市政推進室副主幹）、野本勝大（市政推進室主任主査）、笹川知樹（市政推進室主任主事）
欠席委員氏名	櫻井良樹、筑井正
傍聴者	3名
議事	第4回鈴木貫太郎記念館再建基本計画策定専門委員会議の会議結果（概要）は、次のとおり。
市政推進室長 市長	1 開会 2 市長挨拶  本日で4回目の会議となる。これまで3回にわたり各項目の計画案に御意見を頂き感謝申し上げる。御意見等をまとめ素案を作成した。今後パブリックコメントを行う予定

	である。素案について、忌憚のない御意見を頂きたい。
市政推進室長 議長	議事の進行について、議長に依頼  3 議事  議題 1 「鈴木貫太郎記念館再建基本計画案（素案）について」事務局に説明を求める。
市政推進室主任主査 議長	事務局より資料説明  本日、建築を平屋にするかを決定する必要はないか。
市政推進室長	本日、基本計画を承認いただければ、それを踏まえて基本設計で検討していく。
下津谷委員	今までの意見が反映されているので結構なことだ。 P 3 4、 3 5 「（1）諸室概要」について、館長室兼応接室がない。本施設にはより多くの人々の来訪が望まれており、館長室を訪れる人も多くなるだろう。独立した館長室でないとできない話もある。  意見を踏まえて、基本設計で検討していきたい。
市政推進室長 岩岡委員	P 3 4、 3 5 「（1）諸室概要」に記載の面積は暫定的なものと考えている。全体として1,000 m <sup>2</sup> というのは確定か。
市政推進室長 岩岡委員	一つの目安として1,000 m <sup>2</sup> と示したが、諸室の構成については、今後、それぞれの適切な規模を考えていきたい。  平屋案、二階建案については、並行して進めていくということか。
市政推進室長	水密構造の収蔵庫を作ったり、展示スペースを強固なものにしたりといった対応ができるのであれば、平屋で進めたいと考えている。
菅根委員長	基本計画と基本設計が並行して検討されていると聞いているが、この案は基本設計の成果が反映されているということか。
市政推進室長	基本計画を踏まえて、今後、基本設計を進めることにな

菅根委員長

る。

先日、国立公文書館の展覧会を見学した。鈴木貫太郎内閣を顕彰する内容だった。これは、鈴木貫太郎は日本の歴史上重要な人物であることを国立公文書館が示しているということだ。常設展示の首相時代あるいは組閣から終戦に至るまでについて展示をし、近代史において鈴木貫太郎の功績は絶大なものであるということをきちんと示してほしい。

下津谷委員

施設整備の説明にドア等の水密性という言葉が出てくるが、経年劣化はないか。どの程度の水密性を確保できるか。

丹青社

水密性については、想定している基準は、日本産業規格で定められた基準として10m程度の高さまで浸水した場合に扉の面積に対して、1時間あたり1ℓくらいの浸水を許すものである。仮に2日間浸水したとしても500ℓ程度なので、資料が水没するようなことにはならない。（※補足説明： $500\ell = 0.05 \text{ m}^3$ 。150m<sup>2</sup>の収蔵庫で、最大量の漏水があったとしても、100mmの床上げを行うのが一般的なので、この漏水への処理も技術的に対応可能）

扉の経年劣化については、日本を代表する金庫扉のメーカー・シャッター会社等が製造している製品であり、建築の寿命の中では、十分耐えうると考えている。

菅根委員長

面積は平屋を想定したものか。

市政推進室長

平屋案・二階建案いずれにしても、1階に収蔵庫を設ける場合に水密性が必要となるが、技術的に対応できるという考え方で進めている。

岩岡委員

基本的には平屋で考えているということか。

市政推進室長

これまでの議論を踏まえ、事務局では平屋がふさわしいのではないかという考えだ。

菅根委員長	少し収蔵庫が狭い気がする。博物館でやっかいなのは書籍の問題だ。寄贈された図書はどこに置くのか。また、市民が利用するためのミュージアムライブラリーは想定しているのか。
市政推進室長	総合博物館ではないので、資料が大幅に増える可能性は低い。また、不足する場合には、増築も想定している。増築にも対応しやすい構造という面でも、平屋の方向で進めたいと考えている。
菅根委員長	天井高、動線計画等について御意見はないか。資料は増えることを前提として考えた方がよい。開館すると寄贈の相談が増えてくる可能性があるので、幅を持たせて考えておくべきだ。
四柳委員	トラックヤードの天井高に対して収蔵庫の天井高が低い。収蔵庫を2層にしてはどうか。
市政推進室長	基本設計で検討する。
菅根委員長	素案としてはこれでよいのではないかと思っているが、どうか。
岩岡委員	敷地はP33の斜線部分で考えるのか。 将来的に隣接する敷地も含めて考えることが可能か。
市政推進室長	隣接する駐車場の範囲までは、敷地として利用できる。
菅根委員長	周辺の状況について、変更が生じたことはないか。
市政推進室長	あおぞら広場は、関宿地域活性化のため、道の駅的な施設として川の駅を検討している。現在、川の駅の構想を検討している段階である。
菅根委員長	展示構成案について、意見はないか。 特に意見がないようなので、（1）鈴木貫太郎記念館再建基本計画（素案）を認めていただたい。
菅根委員長	（2）その他について、まずは説明を事務局にお願いする。
市政推進室主任主査	今回の素案について、11月～12月にパブリックコメント

	菅根委員長	を実施する。 最終計画案として、1月中に次回会議を開催したい。
	市政推進室長	ここに示した軸はぶれないでほしい。他に意見がないようなので、以上で会議を終了する。 委員の皆様には素案の了承をくださり感謝する。今後パブリックコメントを実施した上で、再度審議いただけたい。 以上をもって第4回鈴木貫太郎記念館再建基本計画策定専門委員会議を閉会する。